



NEWS LETTER

ニュースレター創刊にあたり

本学における「女性研究者への革新的支援」事業は平成20年度に採択され、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」として展開しております。

現在、本学的女子学生の比率は、医学科で31.1%、歯学科で43.2%、医歯学総合研究科修士課程では57.6%、博士課程では40.4%、生命情報科学教育部門でも40%程度を占めております。また、教職員における女性比率は、医学系で9%、歯学系で14.8%、研究所では18.7%ですが、徐々に女性比率は上昇しており、本年は研究所に初めての女性教授が誕生しました。

女性研究者支援室では、キャリアカウンセリング、研究者と大学院生の交流会、ITを活用した在宅研究システム、保育・病児支援、性差医学の推進と実践などの活動を予定しております。今回のプロジェクトを機に、新しい時代に向けて、ワークライフバランスやダイバーシティマネジメントを人材戦略の基盤とし、全学をあげて意識改革、システム構築を行い、多様性のある人材が最大限の力を発揮出来る職場環境へと整備を行っていくつもりです。



大山 喬史 学長



荒木 葉子 特任教授

平成20年9月に女性研究者支援室特任教授に就任しました。東京医科歯科大学の「革新的な女性研究者への支援」事業は、性差医学を基盤として意識改革を行い、女性研究者のワーク・ライフ支援事業を展開し、女性研究者比率を高めるというものです。本事業は、学長のもとに本学の各組織の皆様で構成される女性研究者支援対策会議が組織され、本学の女性研究者に関する調査・分析、計画の策定を行いました。女性研究者支援室は、対策会議と共同しながら、ホームページの管理、オンラインフォーラムの運営、交流会やシンポジウムの企画運営、育児や女性特有な疾患のある女性に対する研究支援員配備を行いました。運営委員会は対策会議や支援室の上部組織です。平成20年度は大学院疾患生命科学部、難治疾患研究所、生体材料工学研究所の3部局を中心に展開し、平成21年度は全学展開を予定しています。

私は内科医、産業医や労働衛生コンサルタントとして、働く女性の健康、女性医師のキャリア支援、性差医学などに取り組んできました。今回のプロジェクトにより、皆様のワークライフバランスが充実し、健康的で生産的な職場になることを願っています。

昨年11月に着任してから早くも6か月が経とうとし、当室のプロジェクトも2年目を迎えます。この度、出身校でもある本学において、学内の女性研究者支援に携わることが出来るのを嬉しく思い、また自分にとっての新しいチャレンジだと感じています。当室では、学内の皆様が研究・仕事（ワーク）とライフを両立し、キャリアを継続していくための支援を、女性と男性の両方に展開しております。また、研究室の環境作りや意識改革などの活動も推進して参ります。

7月より当室にてキャリア支援相談室を開室致しますので、皆様がお気軽に立ち寄り、ご相談いただく場所にしたいと考えております。



有馬 牧子 特任助教

当支援室開室の背景

平成20年度「文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデルプラン)」に応募し、「女性研究者への革新的支援モデル」として採択されました。今年度で開室してから2年目を迎えます。

当支援室の目的

東京医科歯科大学における生命科学研究者、医師、歯科医師などが、様々なキャリアステージにおいて、能力を発揮し、正当に評価され、出産・育児・介護などのライフイベントと両立できるための十分な支援を受け、豊かなキャリアとライフを築ける環境を整えます。

当支援室の活動目標

女性研究者支援室を中心として「環境整備」と「意識改革」を推進し、2020年までに、東京医科歯科大学研究室の女性教員比率を20%にするよう努めます。また、職位の向上に努めます。

活動のご紹介

女性研究者支援室では、主に以下の4つのテーマにおいて活動し、本学における女性研究者の支援・推進・育成・発展を目指しています。

「女性にやさしい研究室」の推進

- 意識改革の推進
- 女性研究者ネットワークの形成促進
- 女性研究者の相談窓口の設置
- 優秀な女性研究者の応募の促進
- 優秀な女性研究者の育成

女性生命科学研究者のニーズに合わせた支援

- 特任教員等への女性研究者の採用
- 研究支援による拘束時間の短縮と研究の高度化
- 研究支援者の配置
- コアファシリティでの受託解析の充実
- 保育・病児への支援
- 柔軟な勤務体制の確立
- ITの利用

次世代を担う女性研究者の育成

- 女性研究者による講演会
- 女性研究者との交流会
- 女性研究者の研究補助
- キャリアパス支援
- 就職支援
⇒国際産学リンケージプログラムとの連携

全学的女性支援体制への発展

- 女性研究者支援の取り組みの応用
- 講演会等の開催による意識改革
- 他領域と合同で女性研究者支援の取り組みを行う



当室のWish Treeポスターの様子

Opening Event / 2008.11.13 当室オープニングイベントの開催

平成20年11月13日(木)に当室のオープニングイベントを、当室にて開催しました。多くの方々にご参加頂き、賑やかなオープニングを迎えることができました。

参加者の方々には、「なりたい自分」についてカードを書いてもらい、室内の「Wish Treeポスター」に掲示しました。その結果、カードには「仕事と家庭の両立がしたい」「研究を続けていきたい」との具体的な意見が聞かれました。

また参加者の望むライフ支援ニーズとキャリア支援ニーズについても簡単な調査を行ったところ、ライフ支援ニーズとして最も望むものは「長期の休み」が55%、「学内育児施設」が50%の順でした。キャリア支援ニーズについては「キャリアカウンセリング」59%、「女性研究者のネットワーク」57%の順であることが判明しました。

「女性研究者への革新的支援」シンポジウムの開催

平成21年1月23日(金)に東京ガーデンパレスにおいて、当室主催として最初のシンポジウム「女性研究者への革新的支援」が開催され、学内外から104名が参加しました。

開会のご挨拶として大山喬史学長、来賓挨拶として高比良幸藏文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課人材政策企画官をお迎えしました。

特別講演として、都河明子東京大学男女共同参画オフィス特任教授から「東京大学における女性研究者支援」、基調講演として郷通子お茶の水女子大学学長から「Innovationの鍵はDiversityにあり」を賜りました。都河教授と郷学長からは、

モデル校の先輩校として女性研究者支援プログラム推進のための多くの示唆を頂きました。

学内からは、荒木葉子女性研究者支援室特任教授から「生物学的性差から社会的性差への架け橋」として、本学の特徴・実態や女性研究者支援室のご紹介がなされました。浜崎浩子難治疾患研究所准教授からは「行動生物学、発生学、免疫学、そして神経科学」として、ご自身のフランス留学体験についても触れられました。神奈木真理大学院医歯学総合研究科教授からは「基礎研究と臨床研究の間にある免疫学」として、女性研究者として研究を継続するご熱意についてもお話を頂き、森尾郁子大学院医歯学総合研究科教授から「歯科医学を学ぶ女子学生のキャリアトラックについて」として、性差と歯科医療、歯学教育についてご講演がなされました。

それぞれ、基礎から社会医学に渡った性差医学と医療をテーマとしたご講演があり、本学ならではの特色が出ていました。最後に、閉会の辞として野田政樹難治疾患研究所所長からご挨拶を賜り、今後の本学における女性研究者支援の展望について述べられ、また女性のみならず男性支援の必要性についても指摘されました。



「都市部大学/大学病院における保育・病児保育について考える」シンポジウムの開催

平成21年3月12日(木)に、東京ガーデンパレスにおいて「都市部大学/大学病院における保育・病児保育について考える」シンポジウムが開催されました。開会のご挨拶として、谷口尚副学長と荒木葉子特任教授から、本学における保育支援の重要性について提案がなされました。

続いて、廣瀬達也・柳沼恵美東京都福祉保健局少子社会対策部子育て支援課民間保育援助担当係長らから「東京都における保育支援事業について」、渡井いずみ東京大学男女共同参画オフィス特任助教から「東京大学の保育園開設に至るまで」、堀江由香里NPOフローレンスソーシャルプロモーション事業部事業部長から「病児保育ビジネスのこれまでとこれから」、斎藤加代子東京女子医科大学遺伝子医療センター所長・教授/女性医学研究者支援室副室長から「女性医師が離職しないために」、湯村和子自治医科大学腎臓内科教授/女性医師支援センター専

任コーディネーターから「女性医師の働きやすい環境作り」についてご講演がありました。後半はパネルディスカッションが行われ、フロアから病児保育に関する質疑応答が活発に交わされました。



[広報活動のご案内]

ホームページを開設しました!

昨年11月28日より、学内の女性研究者・職員・学生等への女性研究者支援に関する情報提供や情報交換のためにホームページを開設しています。本サイトでは、当室主催のセミナーやシンポジウムなどの活動予定や報告、また各種支援のプログラムの内容についても掲載して参ります。

皆様のキャリア支援やライフ支援、ヘルス支援に役立つ情報をお届けして行きたいと思っております。このHPにより学内における研究者支援が今後より活性化することを期待しています。どうぞ当HPにお気軽にお立ち寄り下さい。

<http://www.tmd.ac.jp/mri/ang>



掲示板を開設しました!

HP内に、オンラインフォーラム(BBS)を作成いたしました。URLは<http://tmd-angel.jp/bbs>です。

IDとパスワード、“tmdangel”を入力してお入り下さい。学内の皆様が必要とするキャリア支援やライフ支援、ヘルス支援、あるいは現在困っていらっしゃる事、あるいは当室へのご意見やご要望など、何でもお気軽にお寄せ下さい。BBSを通じて、活発な討論が出来ることを願っています。



平成20年度 文部科学省科学技術振興調整費
「女性研究者支援モデル育成事業」

キャリア支援相談室を7月より開室予定です。

7月より、当室において、キャリア支援相談室(個人相談)を実施いたします。これから進むべきキャリアについてどうしたらよいのか分からない、次のポジションに結び付きにくい、研究や仕事、家庭との両立が難しい、などとお困りになったことはありませんか?当室までご連絡下さい。相談員が個別に対応させていただきます。開催曜日については詳細が決まり次第、HP等にてご報告致します。

病児保育支援プログラムのお知らせ

生後6か月から小学校6年生までのお子さんを持つ女性教員を対象に、「派遣型病児保育モデル事業」を開始します。病児保育を主体に様々なサービスを展開し、派遣型病児保育に本格的に取り組んでいるNPO法人フローレンスと本学合同で実施いたします。

お子さんの急な発熱の際など、当日の8時までに連絡すれば、ご自宅までこどもレスキュー隊員が伺います。かかりつけ医の診察を受け、ご家庭あるいはこどもレスキュー隊員宅、病児保育施設などで保育を行います。詳細は、当室ホームページをご覧ください。(※今回の対象者には、大学院生と医員は含まれません)

女性研究者支援対策会議メンバー(平成20年度)

運 営 委 員	鏑田 武志	疾患生命科学研究所教授
	野田 政樹	難治疾患研究所所長
	山下 仁大	生体材料工学研究所所長
支援対策会議委員	石野 史敏	難治疾患研究所教授
	黒川 洵子	難治疾患研究所准教授
	小山 恵子	保健管理センター准教授
	永井 亜希子	生体材料工学研究所准教授
	浜崎 浩子	難治疾患研究所准教授
	三高 千恵子	医歯学総合研究科准教授
	森尾 郁子	医歯学総合研究科教授
	山本 則子	保健衛生学研究科教授

(五十音順)



編集・発行

東京医科歯科大学 女性研究者支援室

Activation of Gender Equity / Gender Medicine and Enrichment of Life (Angel Office)

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 3号館4階 477号室

E-mail: info.ang@mri.tmd.ac.jp TEL: 03-5803-4921 FAX: 03-5803-0246

<http://www.tmd.ac.jp/mri/ang>